



Contents

診療科紹介

第1循環器内科	1
血液内科/TOPIC 1	2
脳神経外科/TOPIC 2	3
新任紹介	4-5
外来診療担当表	6



診療科紹介 第1循環器内科

第1循環器内科は長年に渡り当科を牽引してい

た中島均前副院長の

後を昨年度より片岡哲郎部長が引き継ぎ医局員一丸となって診療に励んでいます。当科では、虚血性心疾患、心不全、不整脈、高血圧、弁膜症など幅広い循環器疾患に対応しており、特に心筋梗塞や重症心不全に対するカテーテル治療や補助循環装置の導入など、高度な急性期医療を提供しています。重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)においては第2循環器内科や心臓血管外科を含むハートチームと連携し2017年6月から2024年度までに848例の症例を施行しています。地域の先生方からのご紹介により年々症例数は増加し、2024年度は

年間142例に上り、九州で3施設しかないTAVI指導施設に認定されています。それによりさらに最先端の治療が可能となっています。最近では経大腿アプローチが困難な症例に対して、経頸動脈アプローチによるTAVIも施行しています。透析症例を含む外科的手術が困難な高齢者やハイリスク症例に対しても、安全かつ低侵襲な治療を提供できるよう日々の診療に励んでいます。また、内服による心不全治療が困難な重症僧帽弁閉鎖不全症に対して経皮的僧帽弁接合不全修復術(M-TEER)も2022年5月より約60例施行しています。先生方の日常診療において侵襲的治療の適応に悩まれるような高齢者やフレイルの進んだ患者様がございましたら是非外来にご紹介ください。必要な検査を行いハートチームで症例に応じた最適な治療方針を検討させていただきます。また、患者様

の病態に応じた最適な入院治療後は、地域の先生方と密に連携しながら、再発予防や生活指導を含めた慢性期管理を行い、患者様にとってより良い医療が提供できるよう目指しています。当科では、日常診療だけでなく学術活動にも積極的に取り組んでおり、国内外の学会での症例報告・研究発表を行っています。最新のエビデンスや治療指針に基づいた診療を心がけるとともに、地域の先生方にとっても有益な情報を発信・共有できるよう努めています。今後も、TAVI、M-TEERをはじめとした新しい治療法の提供と、患者様に寄り添った包括的な医療を通して、「地域に根ざした循環器医療」を目指して日々の診療に研鑽してまいります。ご紹介やご相談がございましたら、どうぞお気軽に御連絡ください。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

鹿児島医療センター 第1循環器内科一同

幅広い血液疾患に対応する診療体制

当科は、大塚真紀先生、原口浩一先生、山本花先生、そして私の4名で、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)、骨髄異形成症候群などの造血器悪性腫瘍を中心に、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、溶血性貧血などを含む、幅広い血液疾患の診療を行っています。

新規薬剤と移植療法による治療の進歩

近年、血液疾患に対する治療は、分子標的薬をはじめとする多くの新規薬剤の導入により、日々進歩しています。当科でもこれらの新規薬剤を積極的に取り入れ、治療にあたっています。

かつて、多発性骨髄腫は予後不良で治療が難しい疾患とされていましたが、現在では分子標的薬などの新たな治療薬が多数使用可能となり、患者の予後は大きく改善しています。また、悪性リンパ腫や多発性骨髄腫においては、移植療法が有効であり、患者自身の末梢血幹細胞を採取し、高用量抗がん剤治療後に再移植する「自家末梢血幹細胞移植」により、予後の改善が見られています。

急性白血病においても、複数の新規薬剤が登場したことで治療の選択肢が広がり、予後の改善につながっています。治療抵抗性の急

性白血病やATLの患者に対しては、年齢などを考慮し、同種造血幹細胞移植を検討します。同種移植とは、患者以外の血縁ドナーや骨髄バンク登録ドナーから提供された幹細胞を用いて移植を行う治療法です。

当科は日本造血・免疫細胞療法学会の基準により、移植症例数の少ない施設であるLow Volume Center(LVC)として認定されています。移植が必要と判断された場合には、他施設での実施も含め、患者さんやご家族と医療チームが十分に話し合い、移植施設を検討します。患者さんが当科での移植を希望される場合には、無菌室や専門スタッフを備えた体制のもと、移植前から移植後のフォローアップまで一貫した治療を提供しています。特に、鹿児島県内

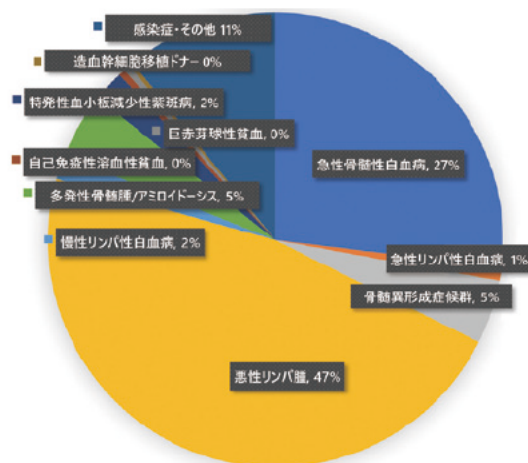
で頻度の高いATLに関しては、診断から治療、移植まで包括的な診療体制を整えています。

地域医療連携と包括的なチーム医療

当科では、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなど、多職種と連携したチーム医療を実践し、入院から退院後まで切れ目のない支援体制を構築しています。患者さんご家族の不安や負担を軽減し、安心して治療を受けていただけるよう努めています。また、地域の医療機関との連携も大切にしており、ご紹介いただいた患者さんには迅速かつ丁寧な対応を心がけています。

2024年度の当科の入院患者数と疾患別割合

疾患名	入院患者数
急性骨髄性白血病	172
急性リンパ性白血病	6
骨髄異形成症候群	29
悪性リンパ腫	300
慢性リンパ性白血病	11
多発性骨髄腫/アミロイドーシス	30
特発性血小板減少性紫斑病	14
自己免疫性溶血性貧血	3
巨赤芽球性貧血	3
造血幹細胞移植ドナー	2
感染症・その他	69
合計	639



TOPIC 1 PICCチームからのお知らせ

●PICC外来のご案内

当院では2019年にPICC(末梢挿入型中心静脈カテーテル)チームを立ち上げ、全診療科を対象に安全かつ効率的なPICC留置を行っています。2024年は年間542件のPICC留置を実施し、医師と診療看護師が連携して対応しています。

昨年、PICCチームは院内での教育活動も積極的に行いました。院内の医師を対象にPICCハンズオンセミナーと看護師を対象にエコー下穿刺のハンズオンセミナーを実施し、実践的な技術向上に貢献しました。これらの活動を通じて、PICCに関する知識とエコー下穿刺技術の向上を目指しています。現在、PICC外来では、在宅療養中または他院入院中で末梢静脈確保が困難な患者さん、高カロリー輸液が必要な患者さんを対象に、PICC挿入のご依頼を受け付けています。外来での対応も可能ですので、該当する患者さんがいらっしゃいましたら、事前に紹介状を当院までFAXまたは郵送にてご送付いただきますようお願い申し上げます。

なお、PICC留置に要する時間は約15～30分程度を予定しており、受付、診察、会計を含めて1～2時間程度の在院時間となりますので、予めご了承くださいませようお願いいたします。

2024年PICCハンズオンセミナーの様子 ▶

●PICCハンズオンセミナー参加者募集

2025年8月29日(金)に「PICCハンズオンセミナー」を開催いたします。昨年度は院内医師向けに実施し、大変好評をいただきましたが、今年度は院外からも広く参加者を募集いたします。対象は医師およびPICC挿入特定行為研修終了者の看護師です。本セミナーは17:30から開始し、PICCの基本知識や留置手技に加えて、「エコー下穿刺」の習得を目的とした実技中心のプログラムを提供します。実際の機材を使用し、実践的なスキルを身につけていただける内容となっております。ご興味のある方は、上記QRコードよりお申込みください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

お申し込みはコチラ



2024年4月より前任の久保先生に代わって赴任して参りました樋渡貴昭と申します。脳血管障害(脳血管内治療・脳血管外科)を専門としております。昨年度で、長年当院の脳神経外科を支えていただきました今村純一先生が退任され、現在当科は常勤医2名で診療を行っております。

当院の脳卒中診療体制

2015年に急性期脳梗塞に対する血管内治療の有効性が示され、2020年に第一次循環器病対策推進基本計画が閣議決定されて以降、脳卒中診療の体制構築が推進されています。鹿児島県では二次医療圏ごとに脳卒中センターや脳卒中急性期治療が可能な施設が設定されており、地方の診療は鹿児島大学脳神経外科医局からの派遣医師や脳神経外科病院勤務の先生方で成り立っています。

脳梗塞急性期治療(tPA/経皮的脳血栓回収術)を含む急性期脳卒中診療は24時間365日の対応が必要です。現状では鹿児島県の各二次医療圏内で治療完結がなんとか可能な状況となっておりますが、地域によっては血栓回収実施医が不在で近隣医療圏や鹿児島市から実施医が急ぎ赴いて治療を行ったり、時間をかけて患者転送をおこなったりすることもあります。

一方で、当院の脳卒中治療体制は脳血管内

科の先生方7名が中心となって、当科の2名も含めて脳卒中急性期診療を行うことができます。血栓回収術については実施医4名(血管内治療専門医3名)と豊富で、多少の余裕をもって治療介入することができます。

最先端の血管内治療

近年発展著しい脳血管内治療をおこなうにあたっては、頭部全体が撮影できるflat panelや血管解析機能をもつ高機能のbiplaneの脳血管撮影装置を要します。これまで当院では心臓カテーテル検査用の血管撮影装置を使用し治療を行ってきましたが、2024年7月からはPhillips社のAzurion7が稼働しており高精細な画像が撮影でき、最先端の血管内治療デバイスを使用する体制を整えています。スタッフの人員の問題もありすべての脳血管検査・治療がこちらで行っているわけではありませんが、体制構築やスタッフ教育も進行中で完全移行までもう一息といった状況です。

脳卒中の直達外科治療と今後の展望

脳卒中の直達外科治療については、計2名の脳神経外科医(脳卒中の外科技術認定医1名)で対応しております。最近では、もっとも脳卒中救急患者の受け入れがある鹿児島市立病院と連携し、緊急の全身麻酔手術が困難であったり、手術室や血管内治療室、病棟が満



床であったりした場合に、速やかに当院で患者さんを受け入れて治療することも増えてきました。脳血管内治療隆盛の時代になってきておりますが、依然として直達手術は脳卒中外科治療の基本であり中心です。今後外科治療は集約化の方向に向かうものと思いますが、当院もその中心的な役割を維持できるよう、診療設備や人的資源を整えていく必要があると考えています。

上記のように脳卒中救急医療の体制維持を努力しておりますが、予定手術の増加も図りたいと思っています。微力ではございますが、これまで以上に地域連携、外来診療にも力を入れていき、皆様のお役にたてるよう頑張っまいります。今後ともお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

TOPIC 2

第2回 城山多職種協働ケースカンファレンス

ハイブリッド開催

謹啓

時下 先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。さてこの度、下記の要領にて「第2回 城山多職種協働ケースカンファレンス」を開催させていただき運びとなりました。ご多忙中とは存じますが、ご出席賜りますようお願い致します。

謹白

日時：令和7年7月25日(金) 18:30~20:00

場所：国立病院機構鹿児島医療センター2階 大・小会議室(鹿児島市城山町8番1号)

参加費：無料 参加登録は下のQRコードよりお願いします。

駐車場：鹿児島医療センター立体駐車場(受付にて無料券配布)

Opening remarks 総合同会

国立病院機構鹿児島医療センター 地域連携主任部長 園田 正浩
国立病院機構鹿児島医療センター 副院長 松崎 勉

【講演】症例報告1 18:30~19:00

『高カルシウム血症によるQT短縮が原因の心室細動による心肺停止状態から救命治療できた一例』
国立病院機構鹿児島医療センター 救急科 田中 秀樹

【講演】症例報告2 19:00~19:30

『糖尿病性ケトアシドーシス(DKA)が疑われたアルコール性ケトアシドーシス(AKA)の一例』
国立病院機構鹿児島医療センター 糖尿病・内分泌内科 和田 華菜子

【総合討論・意見交換】 19:30~20:00

Closing remarks

国立病院機構鹿児島医療センター 院長 西尾 善彦

主催 国立病院機構鹿児島医療センター



ご登録はコチラ



新任紹介



糖尿病内分泌内科 | 児島 奈弥

2025年4月より糖尿病・内分泌内科に赴任いたしました。鹿児島医療センターは一昨年度まで勤務していたため1年ぶりとなります。糖尿病や内分泌疾患をもつ患者さんの診療に真摯に取り組んでいきたいと思っています。当科は他の診療科と併診させていただくことも多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



第1循環器内科 | 有村 俊博

2025年4月より鹿児島市医師会病院より赴任しました有村俊博です。7年前に後期研修医として赴任して以来2回目となります。循環器救急の症例が数多く集まる病院で働けることに、緊張しておりますが、患者様それぞれに寄り添った医療を提供できるよう頑張ります。慣れるまでの期間にご迷惑をおかけしますが何卒宜しくお願いします。



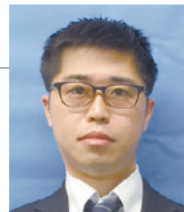
第1循環器内科 | 向井 麟太郎

2025年4月より勤務させて頂くこととなりました。3月までは鹿屋医療センターという病院で勤務しており、御高齢の患者様の心不全といった慢性期診療に携わる機会が多かったです。当院では急性期治療に携わる機会も多くなるとしますので、改めて気を引き締めて診療に取り組んでいきたいと考えております。至らない点もあるかと思いますが宜しくお願いします。



脳血管内科 | 浜田 恭輔

2025年4月より脳・血管内科に赴任いたしました。当院での勤務は、初期臨床研修医でお世話になって以来となります。主に脳卒中診療、脳血管内治療の観点から、患者さんの健康に貢献できればと考えております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



脳血管内科 | 池田 め衣

北九州から帰ってきて、2025年4月より当院に赴任してきました。以前も当院で数年間勤務させていただいており、またこうやって帰ってこれるととても嬉しく思っております。患者様のために尽力させていただきます。よろしくお願いいたします。



消化器内科 | 藤本 敦

2025年4月より消化器内科へ赴任いたしました藤本敦と申します。鹿児島大学卒業後、熊本大学病院消化器内科へ入局し、2024年4月に鹿児島大学病院消化器内科へ再入局いたしました。鹿児島医療センターでの勤務は初めてで、不慣れな点もありますが、真摯に診療に取り組んで参りますので、何卒よろしくお願いいたします。



消化器内科 | 湯通堂 遥

2025年4月に、鹿児島厚生連病院より、消化器内科へ赴任致しました、湯通堂と申します。鹿児島医療センターでの勤務は初めてで、慣れない部分も多いため、早く新しい環境に慣れていきたいと思っております。まだまだ未熟なため、いろいろとご迷惑をおかけすると思いますが、消化器内科としてお役に立てるよう精進して参りますので、何卒よろしくお願いいたします。



心臓血管外科 | 向原 公介

2025年4月より心臓血管外科に赴任しました向原です。当院での勤務は4年ぶり4回目となります。手術を中心に地域の皆様に満足のいく医療を提供できたらと考えております。よろしくお願いいたします。



心臓血管外科 | 植村 翼

心臓血管外科植村翼と申します。この病院へ赴任できる日を大変心待ちにしておりました。初期臨床研修の2年間でお世話になった以来の勤務で多少緊張しておりますが、この病院へ少しでも恩返しができるよう、精一杯尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



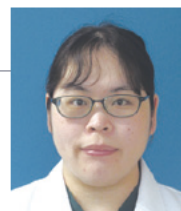
外科 佐竹 霜一

2025年4月より外科に赴任致しました佐竹です。これまでは離島や急患の多い病院で勤務してきました。当院で完結できる医療を増やし、急患対応もしっかり行っていこうと思います。患者様に満足 of いく医療を提供できるよう、日々精進してまいりますので、何卒よろしくお願い致します。



放射線科 増田 敬子

4月から放射線科に赴任しました。増田と申します。入局4年目でまだまだ未熟ですが、よろしくお願いします。鹿児島医療センターでは心臓をはじめとした血管病変や、婦人科疾患が豊富な印象です。これまで心血管画像の経験が少なく、医療センターで多くのことを学べると期待しています。有意義な1年となるように邁進していきたいと思っています。



脳神経外科 井上 恵理

2025年4月より脳神経外科に赴任いたしました、井上恵理と申します。急性期脳卒中を中心とした脳神経外科領域全般について、真摯に対応し研鑽を積んでいけたらと思います。鹿児島医療センターでの勤務は初めてで不慣れな点が多々ありますが、少しでも早く新しい環境になれるよう努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



第1循環器内科 寺園 逸正

2025年4月より第一循環器内科レジデントとして赴任した寺園逸正と申します。研修医2年目の時に研修させて頂き、お世話になって以来でした。研修医時代にお世話になったスタッフの方から声をかけて頂きとても嬉しかったです。忘れていることも多く、ご迷惑をかけることも多いと思いますが、一生懸命に頑張りますので何卒宜しくお願いいたします。ご不明な点ありましたらいつでもご連絡ください。



婦人科 永田 真子

2025年4月より婦人科に赴任いたしました永田真子と申します。鹿児島医療センターは初期臨床研修で医師としてのスタートを切った病院であり、この度婦人科医として戻ってこることができて大変光栄に思います。初心を思い出しながら日々の診療を行えるよう努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



外科 貴島 稔博

初期研修を終え、4月より外科専攻医として赴任いたしました貴島稔博と申します。鹿児島医療センターでの勤務は初めてのため不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけしてしまふことも多々あるとは思いますが早く慣れるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。消化器外科医としてまだまだ未熟者ではございますが、多くの経験をし、患者様によりよい医療を提供できるよう日々精進してまいりますので、ご助力のほど何卒よろしくお願い致します。



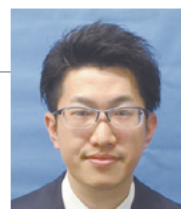
婦人科 鬼ヶ原 幹久

2025年4月より婦人科に赴任しました鬼ヶ原幹久と申します。初期研修を含めて、初めての鹿児島医療センター勤務です。慣れないところもありますが、スタッフの皆さまや先生方にご協力いただきながら、患者さんに寄り添い、満足度の高い医療を提供できるよう精進してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



耳鼻咽喉科 藤崎 亮

2025年4月より耳鼻咽喉科に赴任しました藤崎亮と申します。鹿児島医療センターでの勤務は初めてとなります。患者さんに寄り添い、質の高い医療を提供できるように日々努力して診療していきたいと思っています。まだまだ未熟であり、不慣れなところもあり皆様にご迷惑をおかけすることもあるとは思いますが、精一杯頑張りたいと思いますので何卒よろしくお願い致します。



小児科 長濱 潤

2025年度から着任いたしました長濱潤と申します。専門は血液・腫瘍です。疾患への最大限の治療に加え、病気で苦しむ子どもとそのご家族に寄り添いながら診療を行えるよう努めます。サッカーが好きで試合を観に行ったり、やったりしています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



第2循環器内科 庄子 正樹

2025年4月より循環器内科専攻医として赴任いたしました、庄子正樹と申します。初期研修では4か月間当院で研修させていただき、当時も多くの方々に大変お世話になりました。当院の後期研修プログラムを専攻しており、主に第二循環器内科で勤務いたします。一人前の内科医になるため、また一般内科医として循環器に限らず幅広い知識を持った医師になるために学びの日々を過ごしております。まだまだ未熟ですが患者様の満足いく医療を提供できるように精進して参りますので、各診療科の先生方やスタッフの皆様、何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



放射線科 鮎川 卓朗

2025年4月より放射線科に赴任しました。前任地では腹部の画像診断とIVRを中心としていましたが、医療センターではこれまであまりなじみのなかった領域の画像診断も多く、多くのことを勉強させていただくことになりそうです。その分主治医先生方にはご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、少しでも先生方の診療のお役に立てるよう努力いたします。緊急IVRは比較的对応できるかと思っていますので、貢献できればと思っています。何卒よろしくお願い致します。



腎臓内科 倉八 孝行

この度、4月より腎臓内科専攻医として着任いたしました倉八孝行と申します。私は福岡県久留米市出身で、山口大学を卒業後、山口県下関市にて初期研修を行い、その後は久留米大学腎臓内科に勤務しておりました。これまでの経験を活かしつつ、新しい環境でさらに研鑽を積み、患者様に寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。不慣れな点もあるかと思いますが、精一杯努力して参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



外来診療担当表2025年7月

2025年7月1日現在

診療科		曜 日	月	火	水	木	金
血液内科	初 診		大塚 真紀	原口 浩一	山本 花	大塚 真紀	大塚 五月
	再 診		大塚 真紀	大塚 真紀	大塚 五月	大塚 真紀	大塚 五月
	移植後フォローアップ外来※		山本 花	原口 浩一	山本 花	原口 浩一	
血液内科医師及び看護師（完全予約制）							
糖尿病・内分泌内科			郡山 暢之	児島 奈弥 和田 華菜子	郡山 暢之	西尾 善彦 平原 涼太郎	郡山 暢之
糖尿病療養指導外来※			糖尿病看護認定看護師				
消化管・胆膵			福森 光 藤本 敦	福森 光 湯通堂 遥	福森 光 藤本 敦	「処置日」	福森 光 湯通堂 遥
	肝臓		櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏
腎 臓 内 科			古庄 正英 外山 裕貴 (CKD連携外来)	腹膜透析外来	「手術日」	古庄 正英 倉八 孝行 (CKD連携外来)	外山 裕貴 (第2金曜以外) 古庄 正英 (第2金曜のみ)
第一循環器内科			片岡 哲郎 茶園 秀人 有村 俊博	片岡 哲郎 高崎 州亜	茶園 秀人 今村 孝一 中島 均	福巻 愛	片岡 哲郎 高崎 州亜 向井 順太郎
第二循環器内科 ※弁膜症外来 火曜日			藤田 幸一郎 中別府 麻里	東 健作 平塚 聖久 後藤 淳一	藤田 正浩	石川 裕輔 伊集院 駿 田中 康博	藤田 正浩 馬場 善政
不整脈治療科			塗木 徳人	塗木 徳人	萩 榮瑞	二宮 雄一	塗木 徳人
脳・血管内科			松岡 秀樹 濱田 祐樹 池田 め衣	松岡 秀樹 浜田 結輔 岩元 佳奈	松岡 秀樹 佐藤 健朗 池田 め衣	松岡 秀樹 濱田 祐樹	松岡 秀樹 佐藤 健朗 川畑 裕太郎
小 児 科 ※心臓健診 月曜日～金曜日			田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子	田中 裕治 長濱 潤	田中 裕治 長濱 潤 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 二宮 由美子 吉永 正夫
放射線科	放射線治療		西森 宏雄		西森 宏雄	西森 宏雄	西森 宏雄
	画像診断 CT・MRI・RI		井手上 淳一 鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗	鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗	井手上 淳一 鮎川 卓朗
心臓血管外科			向原 公介		峠 幸志		永富 脩二
外科・消化器外科				塗木 健介 崎田 浩徳 佐竹 翔一		塗木 健介 崎田 浩徳 佐竹 翔一	
脳神経外科 ※水曜日は、手術日のため外来診療休止			橋渡 貴昭	橋渡 貴昭	「手術日」	橋渡 貴昭	井上 恵理
婦人科 ※完全予約制			神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花	神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花	「手術日」	神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花	神尾 真樹 永田 真子 鬼ヶ原 幹久 福西 優花
耳鼻咽喉科 ※完全紹介制（初めての方は医師の紹介が必要です）			松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾
泌尿器科 ※火曜日は、手術日のため外来診療休止			川平 秀一郎	「手術日」	川平 秀一郎	川平 秀一郎	川平 秀一郎
皮膚腫瘍科			松下 茂人 青木 恵美 戸澤 貴久 生駒 京祐	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 星史 (第2・4週) 戸澤 貴久 (第1・3・5週)	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 星史 生駒 京祐
眼 科 ※ 外来診療のみ			中尾 久美子 午後 休診	中尾 久美子	午前 休診 中尾 久美子	中尾 久美子	中尾 久美子
歯科口腔外科			中村 康典 大堀内 孝子	中村 康典 大堀内 孝子	中村 康典 大堀内 孝子	中村 康典 大堀内 孝子	中村 康典 大堀内 孝子
専門外来	医師		緩和ケア外来 松崎 勉		腹水外来 櫻井 一宏		がんゲノム医療相談外来 鈴木 紳介
	看護師		フットケア外来 糖尿病看護認定看護師		リンパ浮腫外来 リンパ浮腫指導技術者	ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師	
セカンドオピニオン外来※			循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患				
マルチモビディティ外来※			第2循環器内科	第1循環器内科	脳血管内科	腎臓内科	消化器内科
『健康診断』				第一循環器内科	第二循環器内科		脳・血管内科
受付 午前8:45～10:00							

- 受付時間／午前8時45分から11時00分まで ●診療時間／午前8時45分から午後5時15分まで※ただし、急患についてはこの限りではありません。
- 休 診 日／土・日曜日・祝日及び年末年始(12月29日～1月3日) ※移植後フォローアップ外来・糖尿病療養指導外来・専門外来・セカンドオピニオン外来・マルチモビディティ外来については完全予約制となっております。事前に電話確認をお願い致します。※不在予定医師につきましてはお電話またはホームページにてご確認ください。※歯科診療に関しましては当院入院患者さまのみとなっております。

患者さんご紹介について

- STEP①** 予約センター（専用TEL:0120-680-704）へご連絡ください。
患者さま氏名・生年月日・ご連絡先・希望診療科をお尋ねいたします。
- STEP②** 希望医・希望日時に合わせて紹介先診療科の新患空予約枠をお取り下さい。
- STEP③** 後程、情報提供書のFAX（専用FAX:0120-334-476）をお送り下さい。

※ただし、一部の診療科（血液内科、不整脈治療科、眼科）は除きます。 ※検査などの関係で、予約日の変更依頼を当院から直接患者様へご連絡する場合がありますことと、内容によって院内の他診療科へ予約変更させていただく場合がありますことをご了承ください。 ※緊急性がある場合には、各診療科医師へ直接お電話ください。

予約センター 専用TEL 0120・680・704 専用FAX 0120・334・476
受付時間：月～金9:00～17:00(祝日・12月29日～1月3日を除く)

